

地域実践活動事例報告シート

平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック				
建築士会名 (支部等含む)	(一社) 北海道建築士会 旭川支部 事業名 青年委員会 「地場産材を活用したまちづくりについて」講習会				
● 活動の種別	<input type="checkbox"/> 建築物調査・保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成・街並み保存・修景 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input checked="" type="checkbox"/> 環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 住まいづくり <input checked="" type="checkbox"/> 住環境整備 <input type="checkbox"/> 会員拡大 <input type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input type="checkbox"/> 次世代育成 <input checked="" type="checkbox"/> その他(木材利用)				
● 企画運営団体	<input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会名 <input type="checkbox"/> その他()				

● 活動の背景

環境負荷低減・CO2削減・再生可能エネルギー活用など様々な分野で省エネへの取り組みが注目され関心が高まっています。建設業界では、木材利用促進法・木造建築物法令の見直しなどにあらうように、地域木材の利活用など環境への取り組みが推進されニーズが高まっている。

● 活動目的

地域木材を利活用した事例から知識を深め、環境について、建築士の役割を再認識する事を目的とする。

● 活動内容と成果

【開催日・場所】
H28年1月20日(水) 旭川市内トーヨーホテルにて

【内容】

当麻町役場 菅野様を講師に招き『地場産材を活用したまちづくりについて』の講習会を行った。内容としては当麻町で推進されている①「食育・木育・花育」をテーマに推進される事業についての説明 ②町内の間伐材を利用した循環型サイクル(地域経済活性)や地産地消の取り組み(民間住宅施策) ③木材利用の公共施設の概要また、木造耐火に関する告示化の例などの事例について、紹介して頂きました。

【成果】

地域材・間伐材の流通や木造住宅での利用方法、また、大規模木造建築物の要件緩和など幅広く知識を深めて今後の業務に役立つ内容であったと考える。

● 集客方法

会誌案内による配布及び関連各社への連絡等

●活動収支	収入	収入なし				支出	印刷・模造紙代程度			
●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		18				33				51名
連携・協力組織	当麻町役場									



会場全体



講演中の様子

● 今後の課題

募集定員が100名であったが、実参加者は51名であった。会員各社へ周知活動も行ったが、より早い段階での周知や、より広く活動を知って頂くと言う観点から、一般企業・市民も対象になる様な企画検討も今後必要な課題と考える。

● 今後の計画

自然エネルギー・エコ省エネなど(住宅分野)の内容を取り入れ、企業や一般向けにも周知でき広報活動としては、望ましいと考えます。ただ、これについては会員の方々やCPD認定の絡みも含め検討したいと考えます。

問い合わせ先	(一社) 北海道建築士会 旭川支部 青年委員会		担当者	安藤 佳紀
連絡先	TEL 0166-22-8894	FAX 0166-26-1758	e-mail	y.andou@to-sei.co.jp
ホームページアドレス	http://h-ab.com/committee/seinen/			